

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのために  
なるかどうか？



## ロータリーたる所以は品格ある職業奉仕の実践

ロータリークラブに入会してエンブレムをつけた時の感動を私は今も覚えています。RCは企業のリーダー、業界のリーダー、そして地域のリーダーが入会が許され、その資質を問われるクラブ。つまり、ロータリーのメンバーになることはステータスだと諸先輩から教えられていたからです。ですから、ああ私も晴れて一員になれた、認められたのだなという熱い思いがありました。

事実、多くのロータリアンは職業人として、業界のリーダーとして、誠実で信頼のあるすぐれた仕事、事業を成し遂げられ、力をいかんなく発揮されています。その仲間になれた喜びは大きなものがありました。

それぞれの職業で、それぞれの影響力を持っているロータリアンは、同時にその品格、倫理感も問われています。ロータリアンは、職業人として職業社会に倫理を提唱してゆく使命を持っています。1940年に国際ロータリーは職業奉仕の目的を第2の綱領として次のように宣言しています。「事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。」

「職業奉仕」は、RCならではの奉仕の部門です。この職業奉仕は、他の奉仕団体には存在しません。ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕の実践です。商道に「売り手よし 買い手よし 世間よし」という言葉があるように、ロータリーは単に利己的な利益追及を良しとしていません。四つのテストを自らの行動規範とし、日々の生活の中で四つのテストを念頭に置きながら実践し、各自の事業、専門職務を通じて、倫理的な道德感を社会に提唱し、高揚して、互いの絆を深め、社会への奉仕を率先実行いたしましょう。

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井義久